

With You さいたま

2019
November
11月号

埼玉県に暮らす 外国籍の女性たち



CONTENTS

- P.4 - 身近に暮らす外国籍住民について考える本
- P.4 - 相談室より 外国籍の女性からの相談
- P.4 - しごと準備カフェのご案内
- P.4 - シングルマザー等への支援 生き方セミナーとママ・カフェのご案内
- P.5 - 「にんしん」にまつわる全てのSOSに寄り添うために
～誰にも言えない 妊娠相談の現場から～ 中島かおりさん講演会より
- P.5 - ひとりで悩んでいませんか？ 性暴力等犯罪被害専門相談電話 アイリスホットラインのご案内
- P.6 - With You さいたま イベントカレンダー

2019パープルリボンキャンペーン ～県内27市町でタペストリー巡回中～

パープルリボン(むらさき色のリボン)は、DVをはじめとする様々な暴力をなくそうという国際的なキャンペーンのシンボルです。

With You さいたまでは、女性に対する暴力をなくす運動として、来館者がパープルリボンを作成し、タペストリーを完成させるキャンペーンを展開しています。

今年度は、埼玉県内27市町がキャンペーンに参加し、タペストリーの製作にご協力いただいています。

タペストリーをみかけたら、ぜひご参加ください。

巡回期間 2019年6月24日～2020年2月27日

外 国人労働者の受入れを拡大する改正出入国管理法が2019年4月に施行されました。この先、外国人労働者が大幅に増えることが予想されています。今回の特集では、埼玉で暮らす外国籍住民の現状と、その中でも、特に外国籍の女性たちが抱える課題について考え、共に暮らす道を探ってみたいと思います。

特集

外国籍の女性たちが埼玉県に暮らす

外国籍の女性が抱える課題について

外国籍住民の方は、滞在期間が長くなるほど、教育や医療、福祉、年金、介護といった生活のそれぞれの場面での課題に直面します。そのなかでも、外国籍の女性が抱える特有の課題はどのようなものが考えられるでしょうか。

まず、妊娠や出産に関わることは慣習の違いもあり、困難が伴うことが考えられます。通院の際の言葉の問題、情報や援助の不足といった問題もあります。

また、子どもは学校で日本語が上達するけれど、母親には言語習得の機会が保障されず、日常会話ができても、学校からの通知が読めない、行政での事務手続きが難しいといったことも起きています。各地でボランティアによる日本語学習講座などが行われています。今年4月に開校した県内初の公立夜間中学の受講者の6割は外国籍住民の方です。

近年、国際結婚の増加とともに、国際離婚も増えています。国際離婚の割合をみると、外国人夫と日本人妻の離婚より、日本人夫と、外国籍妻の離婚の件数の方が多くことがわかります(注1)。

婚姻で日本に定住する外国籍女性の場合、経済的に夫が優位に立ちやすい状況があります。また、在留資格更新の際には、夫の署名が必要です。そのため、経済的にも、法律的にも、夫に付随する立場となり、外国籍女性は、従属的な弱い立場に置かれがちです。

配偶者暴力相談支援センターへの相談も、女性が多いこと(注2)が統計でわかります。被害者が外国籍の方でも、DV防止法の対象となりますが、頼る家族や友人がなく、情報の入りにくい外国籍住民にとって、相談窓口を知ること自体が難しい状況が予想できます。

また、生活保護受給世帯における外国人母子世帯の割合も統計的に高く(注3)、離婚後、日本で子どもを育て、働いていくことが、外国籍女性たちにとって、厳しい現状であることがわかります。

こうしたことから、外国籍の女性たちは、外国人であるがゆえの困難と同時に、女性であることの困難も抱えているということが見えてきます。

※注1 離婚全体に占める一方が外国人の割合(平成29年) 夫日本人・妻外国人 4.1%、妻日本人・夫外国人 1.4% [厚労省人口動態調査より]

※注2 日本語が十分に話せない被害者からの相談件数(平成29年度) 1,495件中 女性1,478件 男性17件 [内閣府男女共同参画局 資料より]

※注3 生活保護受給世帯における母子世帯の割合 受給世帯全体 6.1%、外国人世帯のみ 14.9% [厚生労働省 平成28年度被保護者調査より]

私たちにできることは

埼玉県では、日本人住民と外国籍住民が共に地域社会を支え、共に歩む多文化共生の県づくりを推進するため、「埼玉県多文化共生推進プラン(平成29年度～33年度)」を策定しています。私たちも、隣人である外国籍住民を身近に感じ、互いが知り合う機会を増やしていくことが大切ではないでしょうか。

受け入れる社会の仕組みも、さらに整備されていく必要があります。通訳サポーターの養成をしたり、窓口での通訳にスマートフォンを活用したりする事例も出てきました。就学支援や災害時の外国籍住民向けの連絡や広報について取り組む自治体もあります。

地域に定住する外国籍住民を、コミュニティの中のメンバーとして捉え、特別視や疎外したりすることなく、それぞれの文化や困難等も理解したうえで、彼/彼女の持つ多様性がまちづくりに活かされる取組が広がっていくとよいのではないのでしょうか。

外国人総合相談センター埼玉

☎048-833-3296
平日 午前9時～午後4時

外国人からの様々な困りごとの生活相談に対し、多言語で応じ、情報提供を行っています。公共機関の窓口等で、電話での通訳も可能です。**各機関と連携し、専門的な相談にも対応します**：入管制度(電話相談は予約不要)、労働問題、法律問題(予約制)
対応言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、やさしい日本語

埼玉県の外国籍住民の現状

埼玉県の外国籍住民の数

埼玉県には、現在、180,762人(平成30年末現在)の外国籍住民が暮らしています。東京、愛知、大阪、神奈川に次いで、全国では5番目に多く、約40人に1人が外国籍の方です。実際、近所に住んだり、働いたりする方も増え、日常生活で触れ合う機会も増えているのではないのでしょうか。

外国籍住民の方の国籍

国籍は、約160の国および地域と幅広く、中国が最も多いです。在日韓国・朝鮮人の方など、すでに三世代、四世代と、長く日本で暮らしている方もいます。全体的にアジア系の方が多いですが、最近特にベトナム国籍の人が増えています(グラフ1参照)。

年齢・性別について

男性よりも、女性の方が若干多くなっています。ただし、フィリピン国籍の方は、40～50代の女性が圧倒的に多く、ベトナム国籍の方は20代前半の男性が多い等、国によっても違いがあります。全般的には男女ともに、20～30代の若い層が多くなっています。

在留資格について

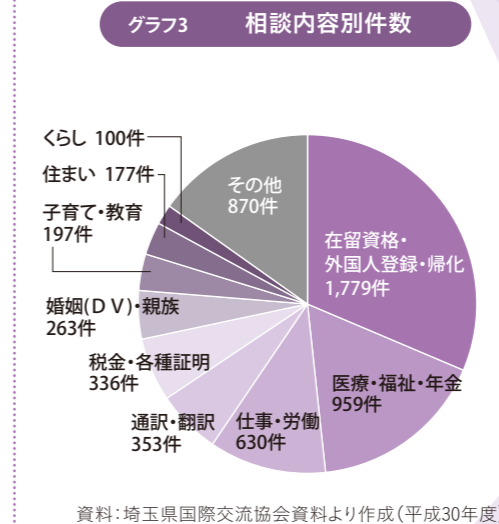
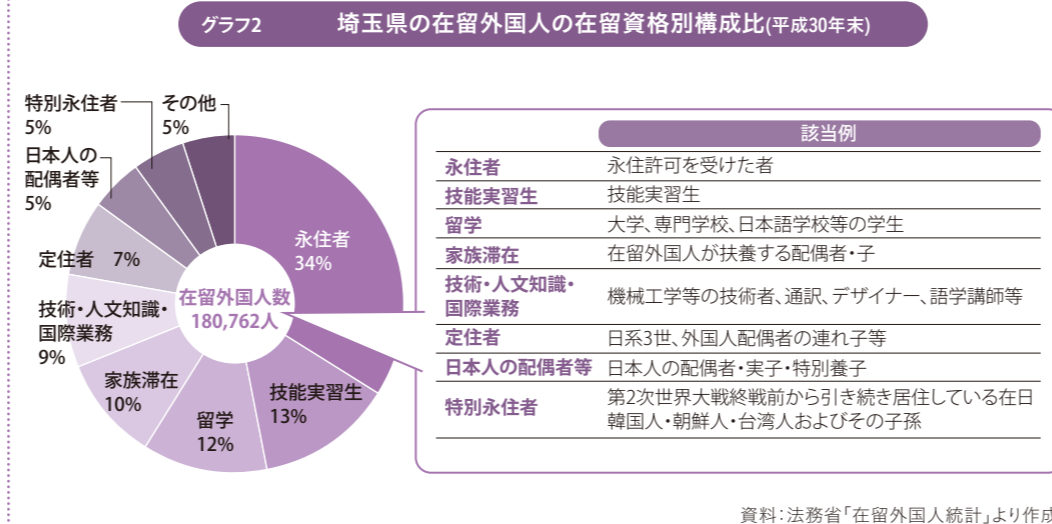
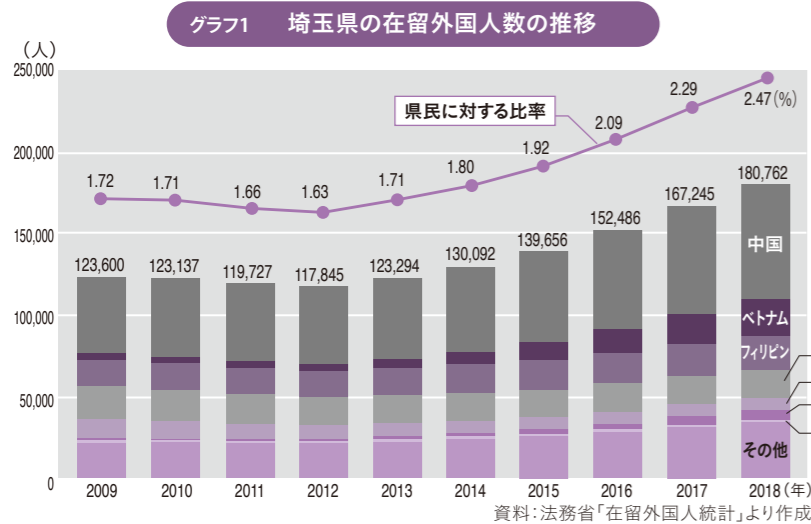
在留資格は様々で、「永住者」が最も多く、「技能実習生」、「留学」、「家族滞在」と続きます(グラフ2参照)。中国の方は「永住者」やその「家族」が多く、日本に長く暮らしている人も少なくありません。ベトナムの方は、「技能実習生」が多く、在日年数は短い方が多いです。フィリピンの方は「日本人の配偶者」の方が多いです。

県内の市町村の状況

埼玉県で一番多いのは川口市で、36,407人です。全国の市区町村の中でも3番目です。その他にも100位以内に、川越市、戸田市、草加市、蕨市、越谷市が入っています。外国籍住民の割合は、蕨市が全国でも11番目に高く、県内では最高の9.18%、約11人に1人となっています。

外国人総合相談センター埼玉での相談内容

埼玉県の多言語での対応が可能な『外国人総合相談センター埼玉(右下参照)』での相談内容で、一番多いのは、「在留資格や外国人登録」、二番目が「医療・福祉・年金」に関するものです(グラフ3参照)。



STOP!
DV

11月12日～25日は、
「女性への暴力をなくす運動」期間です

With You さいたまでは、相談や講座など、女性への暴力根絶に向けた様々な事業を実施しています。11月の内閣府「女性への暴力をなくす運動」の期間には、DV防止フォーラムやパープルリボンキャンペーン、パープルライトアップなどを行っています。

ここでは、女性への暴力根絶に向けた事業の中から、7月24日に開催された性暴力防止セミナーより、講演の一部を紹介します。NPO法人ピッコラレー代表理事の中島かおりさんを講師にお迎えし、妊娠にまつわる相談の実情とその支援について語っていただきました。



なかじま
中島かおりさん

NPO法人ピッコラレー代表理事。第2子出産の際に、にんしんSOS東京の発起人である宗祥子助産師との出会いをきっかけに助産師を目指す。病院・助産院を経験後、女性の側に寄り添う助産師でありたいと地域で活動しながら、にんしんSOS東京の運営に携わる。著書に「漂流女子」(朝日新書)。

性暴力防止セミナーより

「にんしん」にまつわる

全てのSOSに寄り添うために～誰にも言えない 妊娠相談の現場から～

誰にも言えず孤立する女性たち

私たちNPO法人ピッコラレーが運営する「にんしんSOS東京」では、「生理がこない」「避妊に失敗した」「妊娠してしまった」など、妊娠にまつわる葛藤についての相談をメールや電話で受けています。

思いがけない妊娠をめぐるのは、人工妊娠中絶、妊娠に悩む女性の自殺、児童虐待死などの深刻な課題があります。特に、児童虐待死は生まれたその日に亡くなるのが最も多く、その母親は母子手帳未交付、病院未受診の場合が多いことが厚生労働省の報告でわかっています。国では妊娠中からの切れ目のない支援に取り組んでいますが、そのスタートラインは母子手帳交付の場であるため、病院未受診で、母子手帳交付の場に現れない妊婦は支援につながる事ができません。妊娠しているかもしれないことを誰にも言えないまま、徐々にお腹が大きくなっていく中で、一人きりでどれだけ不安な思いを抱えているのだろうと思います。

私たちが最も問題を抱えやすいと考えるのは、若年の妊婦です。特に、10代の妊娠を支える仕組みはまだまだ足りません。例えば、妊娠で月経が止まることを知らず妊娠をそのままにしていたり、虐待や暴力、貧困によって、安心して安全な居場所を失い、漂流してたりするため、彼女たちとつながることはとても難しいと感じます。

このような現状を変えるため、私たちは妊娠がわかった時からではなく、妊娠したかもしれないと悩む時期から相談ができ、必要に応じて面談や同行し、必要な支えにつながるために、「にんしんSOS東京」を立ち上げました。現在では、埼玉や千葉で県からの委託事業としても相談を行っています。

妊娠葛藤相談に求められること

相談者は、様々な場所で傷つき体験をして、社会への不信感や無力感を持っていたり、周りに信頼できる人がおらず孤立したりして、「誰にも言えない」「誰も分かってくれない」という大きな不安を抱えています。そうした方が相談するためには、匿名でも相談でき、安心・安全で役に立つと思われることが必要です。一度、安心して相談できれば、その経験が自信になったり自分の居場所があると感じたりして、小さな希望を持てるようになるかもしれません。

初めて受けた相談では「よく連絡をくださいました。ありがとうございます。」と伝えます。相談員の役割は、相談者自身の力を支えることと、相談者をつなぐハブになることだと考えています。まず相談者の気持ちに寄り添って話を聞き、その上で必要な情報を伝えます。価値観を押しつせず、信頼関係を築きながら支援と一緒に考え、適切な連携機関につながります。相談者が確実に、安心してつながれるように、様々な連携機関と顔の見える関係をつくり、相談者が抱えている問題を共有します。

SOSを出してくれた方は、多くの場合、妊娠以外の問題も抱えています。暴力や貧困、排除という問題が背景にあり、安心して安全な居場所がありません。今私たちは、居場所のない妊婦のための安心で安全な居場所を準備しています。産んでも、産まなくても、誰もが「にんしん」をきっかけに社会とつながり、自由にしあわせに生きていくことができる社会の実現へ向け活動していきます。

にんしんSOS埼玉

電話相談 050-3134-3100 年中無休16:00～24:00(受付は23:00まで)

メール相談 sodan@sos.saitama.jp 24時間受付※返信に2日程かかる場合があります。

ひとりで悩んでいませんか？ あなたの気持ちに寄り添いながら、一緒に考えます

性暴力等犯罪被害専用相談電話
アイリスホットライン



詳しくは
Webで



電話相談

性犯罪・性暴力にあわれた方やそのご家族からの相談に応じます。

医療支援

産婦人科、精神科の紹介、医療費支援などを受けられます。

法律相談

弁護士による法律相談を受けられます。

やさしい
048-839-8341

面接相談(予約制)

あなたの心と体のケアのために、どうしたらよいか一緒に考えます。

緊急避妊の措置は、被害後
72時間以内に行う必要があります。

受付時間

24時間365日

11月	10日	DV防止フォーラム 児童虐待とDV ～家庭で何が起きているのか～ 14:00～16:00 杉山春 (ルポライター)
	14日	県民の日イベント 親子で遊ぼう! With You さいたま 10:00～16:00
	16日	R40 大人のビブリオバトル in 埼玉 予選会 13:30～15:30 出場者 40歳以上の方 観覧自由
12月	20日	県民講座「障害と女性」 障害のある女性たちと考える 「誰ひとり取り残さない世界」 13:30～15:30 山本奈緒子 (全国自立生活センター 協議会事務局長) 見形信子 (神経筋疾患ネットワーク 代表)
	14日	県民のための医療セミナー “子どものかぜ”大人が子どものために できること～風邪の予防と治療、自宅看護 するときのポイントをご紹介します～ 13:30～16:00 埼玉県立小児医療センター感染対策 チーム

2020年 2月	7日	第18回With You さいたまフェスティバル 2/9(日)フェスティバル講演会 世界は203050へ ～ジェンダー平等をめぐる潮流～ 14:00～15:30 林陽子 (弁護士、前国連女性差別 撤廃委員会委員長)
	8日	メンズプロジェクト講演会 どうしたらセクシュアル・ハラスメントを なくせるか(仮) 13:30～16:00
3月	8日	

通年	11/16(土) 12/14(土) 2020年1/18(土) 2/15(土)	女性のための生き方セミナー 離婚を迷う女性対象 いずれも13:00～14:30 女キャリア
	12/11(水) 2020年1/22(水) 3/4(水)	グループ相談会「しごと準備カフェ」 働きづらさ、生きづらさに悩む自立や就業を めざすおむね45歳以下の女性 いずれも14:00～16:00 女キャリア

女キャリア マークのあるセミナーは、埼玉県女性キャリアセンター(右記)へお申込みください。

※イベントカレンダーの日時や内容は変更することがありますので、ご了承ください。

トライアル共催事業

※県内で活動する団体の支援事業です。申込みは各団体で受け付けています。詳しくはホームページでご確認ください。

- ①11/9(土) 13:30～16:30
自分流! 人生100歳時代の
生き方探し(2回連続)
me life woman 女性起業チーム
- ②11/23(土) 13:00～17:00
10代から23歳までのLGBTの
ための居場所「にじーず」埼玉
10代から23歳までのLGBTのための
居場所「にじーず」埼玉
- 2020年1/19(日) 10:00～12:00
自分らしいキャリアをデザイン
第3回「本当にやりたいことを見つけよう!」
株式会社コミュニティネット
「キャリアチャレンジプロジェクト」
- ①1/19(日) 13:30～16:30
自分流! ワーク・ライフ・バランス
(2回連続)
me life woman 女性起業チーム
- ②1/26(日) 10:00～12:00
自分らしいキャリアをデザイン
第4回「幼児期の親子関係について」
株式会社コミュニティネット
「キャリアチャレンジプロジェクト」

With You さいたま休館日等のお知らせ

- 年末・年始の休館日
12/29(日)～1/3(金)
- 情報ライブラリーの閉室
12/19(木)～12/25(水)
特別整理のため情報ライブラリーは
閉室となります。

講座の申込み方法

市町村、男女共同参画関連施設、図書館、公的施設などに開催日の約1か月前からチラシが配布される他、With You さいたまホームページにも掲載します。電話やメールでの問合せも受け付けています。

保育サービスを実施しています

With You さいたまでは、講座・講演会に参加される方を対象に保育サービスを実施しています。
▶6か月以上の未就学児対象
▶先着15名 ▶実費300円
講座申込み時に、名前と年齢をお申し出ください。

With You さいたま 埼玉県男女共同参画推進センター

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2
TEL 048-601-3111
FAX 048-600-3802
URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/>

開館時間

月曜～土曜 / 9:30～21:00
日曜・祝日 / 9:30～17:30
休館日 / 年末年始、第3木曜日

貸出施設のご利用時間

午前 / 9:30～12:00
午後 / 13:00～17:00
夜間 / 18:00～21:00
※利用時間には、準備及び後片づけの時間も含まれます。

With You さいたま相談室

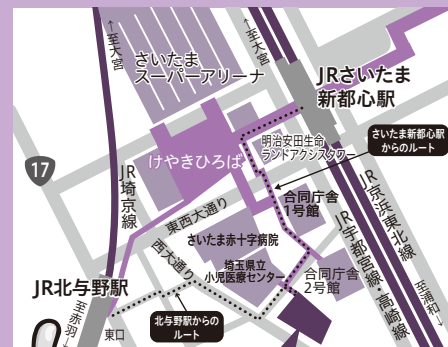
電話相談 TEL 048-600-3800
受付時間 月曜～土曜 / 10:00～20:30
(年末年始、祝日、第3木曜日を除く)

埼玉県女性キャリアセンター

電話相談受付
電話相談 TEL 048-601-1023
受付時間 月曜～金曜 / 10:00～11:30
12:30～16:30
面談相談予約
●女キャリア セミナー受付 TEL 048-601-5810
受付時間 月曜～土曜 / 9:30～17:30
(年末年始、祝日、第3木曜日を除く)

ハローワーク求人検索・紹介

求人情報の検索 月曜～土曜 / 9:30～17:30
求人情報の紹介 月曜～土曜 / 10:00～17:00



With You さいたま
ホテルプラザ武蔵野3・4F
さいたま新都心駅から徒歩5分
北与野駅から徒歩6分

埼玉県マスク
「コ/ト」
「さいたまっち」

